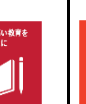


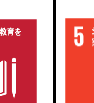
※記載例を参照の上、ご記入ください。

(様式第3号)

企業・団体名(株式会社相和_____)

SDGs達成に向けた具体的な取組（要件２）【R5.11.30様式改定】

カ テ ゴ リ	チェック項目	取組 レベル	【非該当】 の場合 選択入力	【予定】の 場合 選択入力	具体的な取組 (県などの取得認証があれば、併せて記載) (【非該当】を選択した場合はこちらに理由記載)	主なSDGs（17ゴールと169ターゲット）関連項目																
						1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17
																						
1	【差別の禁止】 ・性別、年齢、障がい、国籍、出身などによる差別を防ぐ教育体制や相談体制を整備し、差別がないことを確認している	基本			経営トップが関与し、雇用、教育、登用、福利厚生など雇用条件で差別しないよう体制を構築している。また、相談窓口として定期的な面談を実施している。					5.1 5.2 5.5			8.5 8.7 8.8		10.2 10.3						16.1 16.2 16.7	
2	【ハラスメント禁止】 ・セクハラ、マタハラ、パワハラ等のハラスメントを防ぐ、ルール・教育・相談体制を整備している	基本			ハラスメントを禁止する旨を就業規則に明記している。					5.1 5.2 5.5			8.5 8.8								16.1	
3	【労働時間】 ・過度な長時間労働の防止に取り組んでいる	基本			労働基準法36協定及び変形労働を共有し、残業時間の把握、必要に応じて注意喚起している。有給休暇の取得を推進している。								8.5 8.8									
4	【外国人労働者】 ・外国人労働者に対する差別、人権侵害がないことを確認している	基本			外国人技能実習生について、処遇や労働環境は日本人労働者と同等であり、定期的な面談を実施している。				4.4				8.7 8.8		10.2 10.3							
5	【労働安全衛生】 ・作業中の事故等を防ぐため、安全で衛生的な労働環境の整備に取り組んでいる	基本			労働安全推進者を任命し、労災発生防止に努めている。安全衛生に関わるポスター等を掲示し周知している。			3					8									
6	【メンタルヘルス】 ・労働者のメンタルヘルスを良好に維持できるように対策に取り組んでいる	基本			定期的な面談を実施している。福利厚生などの要望・希望を随時対応・検討している。年に1回程度外部の方に全社員整体を施していただいてその際にもメンタルについてもヒアリングしてもらっている。			3														
7	【ダイバーシティ経営】 ・多様な人材（女性、外国人、障がい者、高齢者等）が、十分に活躍できる環境の整備に取り組んでいる	基本			社会福祉協議会などと連携し、鬱や引きこもりなど働きづらい方の就業体験や雇用につなげる活動を実施している。社員にも周知し、受け入れている。					5.1 5.5			8.5		10.2 10.3							
8	【人材育成】 ・適切な能力開発、教育訓練の機会を従業員に提供している	基本			職務に応じた資格取得や外部講習を推進している。社内資格者認定登録を行っている。				4	5.5			8	9								
9	【公正な待遇】 ・雇用形態に関わらず、同一労働同一賃金等の原則に沿って対応している	基本			賃金規定を元に公正な待遇を実施している。（経験・勤務年数による差異あり）					5.5			8.5		10.2 10.3							
10	【健康経営】 ・従業員への健康投資による生産性の向上等に取り組んでいる	チャレンジ			全社員が毎年健康診断を受診しており、社内の保健師有資格者が指導を行っている。年に1回程度外部の方に全社員整体を施していただいている。			3					8									
11	【廃棄物】 ・廃棄物の管理を適切に行い、適切な処理に取り組んでいる	基本			廃棄物置き場を設定している。法定通り廃棄物処理を行いマニフェストを管理している。											11.6	12.4		14.1			
12	【エネルギー・温室効果ガスの現状把握】 ・自社のエネルギー使用量、温室効果ガス排出量を把握している	基本			電力会社からの通知を記録し、生産量とリンクしていることを確認している。							7.3					13					
13	【省エネ・温暖化対策の計画・取組】 ・自社の温室効果ガスの排出量を把握し、排出の抑制に取り組んでいる	基本			自社の光熱費電気代を把握し、照明のLED化、太陽光発電自家消費施設設置に取り組んでいる							7.2 7.3					12.4	13.3				
14	【有害化学物質】 ・法令等で規制されている有害化学物質を把握し、使用量の抑制及び適切な使用に取り組んでいる	基本			法令等で規制されている有害物質をSDS等で把握し、使用については計量による適切使用を及び管理を行っている。RoHS指定対応済み。			3.9			6.3					11.6	12.4					

カ テ ゴ リ	チェック項目	取組 レベル	【非該当】 の場合 選択入力	【予定】の 場合 選択入力	具体的な取組 (県などの取得認証があれば、併せて記載) (【非該当】を選択した場合はこちらに理由記載)	主なSDGs（17ゴールと169ターゲット） 関連項目																
						1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17
																						
15	【生物多様性】 ・ 自社活動が生物多様性や生態系に悪影響を及ぼさないよう配慮している	基本			生産活動で発生する廃プラスチックについて、場所を規定し廃棄物と有価物に分別している。適宜工場清掃を実施し、外部にプラスチックが流出しないように努めている。						6.6									15		
16	【3 Rの推進】 ・ リデュース、リユース、リサイクルに取り組んでいる	基本			生産活動で発生する廃プラスチックについて、場所を規定し廃棄物と有価物に分別している。再生可能有価物として販売している。												12.5		14.1			
17	【水の管理】 ・ 水資源の利用状況を適切に管理し、利用効率の改善に取り組んでいる	チャレン ジ			生産に使用する冷却水は外部タンクを用い、循環して利用する構造を構築している。						6.4 6.6											
18	【環境マネジメントシステム】 ・ ISO14001、エコアクション21または同等の環境マネジメント規格を取得している	チャレン ジ			2026年までにEcoアクション21導入予定			3.9			6	7					12	13.3	14	15		
19	【環境情報開示】 ・ 環境の取り組みに関する情報を正しく開示している	チャレン ジ			生産活動で発生する廃プラスチックについて、場所を規定し廃棄物と有価物に分別している。再生可能有価物として販売している。適切に処理を行い業務として行っている。												12.6					
20	【再生可能エネルギーの利用】 ・ 再生可能エネルギーの利用に取り組んでいる	チャレン ジ			太陽光発電パネルを自家消費用に設置し、そこで産み出された電力を使用し生産活動を行っている。							7.2						13				
21	【天然資源の持続的利用】 ・ 天然資源の持続的利用に配慮した調達に取り組んでいる	チャレン ジ			生産時の廃プラスチックも適切に分別し、それ以外の包装材についても適切に処理していただける先に排出し、3RIにつながる活動に取り組んでいる。												12.2	13	14	15		
22	【汚職・贈収賄防止】 ・ 汚職・贈収賄を禁止する方針を掲げ、社員に周知している	基本			就業規則に明記し、従業員に周知している。																16 16.5	
23	【公正な競争】 ・ 不正競争行為に関与しない方針を掲げ、社員に周知している	基本			就業規則に明記し、従業員に周知している。																16	
24	【知的財産保護】 ・ 知的財産の保護に取り組んでいる	基本			顧客先の知的財産等を含め適切に管理している								8.2 8.3	9								
25	【個人情報保護】 ・ 個人情報を適切に管理している	基本			マイナンバーを含む個人情報は、管理者を決め金庫にて保管している。																16	
26	【紛争鉱物】 ・ 紛争鉱物を取り扱っていないことを確認している	チャレン ジ			紛争鉱物の取扱いがないことを確認している																16	
27	【サプライチェーン管理】 ・ サプライヤー、事業パートナー等と、人権侵害の防止、生物多様性や生態系への悪影響の防止、倫理面での適切な対応（ハラスメント・汚職・贈収賄防止）について認識を共有し、共に取り組んでいる	チャレン ジ			顧客満足度調査を行い、情報共有を行い、適切な対応を取っている。適宜打合せと面談を通して良好な関係を構築できるよう努めている。					5			8		10		12	13	14	15	16	17
28	【パートナーシップ構築宣言】（R5.9.5～追加） ・ 中小企業庁等が推進する「パートナーシップ構築宣言」を作成・公表している	基本			「パートナーシップ構築宣言」を作成・公表している			3					8	9	10							17

	チェック項目	取組 レベル	【非該当】 の場合 選択入力	【予定】の 場合 選択入力	具体的な取組 (県などの取得認証があれば、併せて記載) (【非該当】を選択した場合はこちらに理由記載)	主なSDGs（17ゴールと169ターゲット）関連項目																
						1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17
																						
29	【製品・サービスの安全性】 ・製品・サービスの安全性を確保するための仕組みを構築している	基本			原料のSDS（安全データシート）を品種ごとに入 手し、安全性の確認を行っている。			3.9									12.4					
30	【品質保証】 ・品質のよいモノやサービスを提供するための仕組みを構築している	基本			ISO9001のシステムを運用している。 また、顧客先の基準に応じた品質維持を行って おり、品質目標として不良品の社外流出ゼロを 掲げている。									9								
31	【環境配慮】 ・環境に配慮した製品の開発・設計に取り組んでいる	チャレ ンジ			当社では設計開発を行っていないが、ロスが少 ない生産に向けて取組を進めている。						6						12	13	14	15		
32	【社会課題解決】 ・社会課題を解決する製品・サービスの開発・展開に取り組んでいる	チャレ ンジ			当社はプラスチックを用いた製品を生産してい るが、食品包材向けの製品は食品ロス低減と賞 味期限伸張の一端を担っている。	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17
33	【地域への配慮】 ・自社事業が地域に与える影響を把握し適切に対応している	基本			当社の企業活動を十分に把握し、高校などへの 企業説明や社会福祉協議会などとも連携し地域 との関りと影響を深めている。				4					9		11	12		14	15		17
34	【社会貢献活動】 ・寄付、ボランティアなど社会貢献活動に積極的に取り組んでいる	チャレ ンジ			社会福祉協議会などと連携し、働きづらい方の 見学や就業体験受入れ等に取り組んでいる。				4							11			14	15		17
35	【地域資源】 ・地域資源を積極的に利用（地消地産、地産外商）している	チャレ ンジ			調達の際に地域商社から購入するなど実施して いる								8	9		11	12	13				
36	【内部管理体制】 ・経営理念及び経営目標を社内で共有している	基本			社内には経営方針説明会を実施し、理念と方針 の共有を行っている。また、ホームページ等 でも常に発信している。								8	9								17
37	【法令遵守】 ・法令遵守の考えが社内に浸透し、法令を確実に遵守する体制・仕組みを構築 している	基本			就業規則に明記し従業員に周知している。ま た、顧客先とも相談でき適宜確認できるチェッ ク体制ができている。																16	
38	【組織体制】 ・企業活動が社会・環境に及ぼす影響に対応する担当、専門部署などの体制を 整備している	基本			社長とISO担当者が中心に担当して体制を構築し ている。																16	
39	【ステークホルダーとの対話】 ・ステークホルダー（※）との対話により、自社の活動がステークホルダーに及 ぼす影響を把握し、適切に対応している（※利害関係者：消費者、投資家等及び社会全 体）	基本			取引先とは定期的な面会や品質会議などを通じ て把握している。																16	17
40	【リスクマネジメント】 ・リスクを特定、評価し、マネジメントするプロセスを整備している	チャレ ンジ			ISOに基づいたリスクマネジメントのプロセスを 整備し、監視・対応をしている。																16	
41	【社会的責任】 ・C S R（Corporate Social Responsibility：企業の社会的責任）の考えに基 づき企業活動が社会・環境に及ぼす影響に対して、責任を持った対応に取り組 んでいる	チャレ ンジ			顧客要望に基づきCSRの考えに基づき就業規則に 記載したり、日々の活動の中で指針としてい る。																16	
42	【事業継続】 ・事故や災害などの発生における事業継続計画を立案している	チャレ ンジ			令和5年に事業継続力強化計画を更新し、継続的 に見直しを行っている。									9		11		13 13.1			16	
43	【事業承継】 ・事業承継に関する検討・対策を行っている	チャレ ンジ			2021年2月に事業承継を実施済み。担当税理士と も連携し相談体制を構築している。								8	9								17

上記以外で設定した取組項目

独自に設定したSDGsに資する取組		具体的な取組	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17

【記載留意事項】

・「取組レベル」の「基本」の項目のすべてに「具体的な取組」が記載されていることが登録の必須条件となります。なお、今回の宣言に合わせて、今後、取組む予定のものであっても、その取組を「具体的な取組」を記載いただければ登録が可能です。（今後、取り組むものについては、「具体的な取組」の前の【予定】を選択入力してください。）

・【非該当】欄については、「チェック項目」が事業形態上（個人事業主等）、該当しない場合に選択入力し、その理由を「具体的な取組」欄に記載してください。

・「具体的な取組」には、チェック内容に関する具体的な取組を記載するほか、取組に関連する国際機関、国、県、市町村等の認証・認定等（※）を取得している場合は、できるだけ、その旨を併せて記載してください。
（※職場いきいきアドバンスカンパニー認証制度、女性の活躍推進企業知事表彰、男女共同参画推進県民会議表彰、障がい者雇用優良事業所等表彰、信州豊かな環境づくり県民会議表彰、長野県技能評価認定制度、NAGANOものづくりエクセレンス認定、信州福祉事業所認証・評価制度、信州リサイクル製品認定制度、信州の環境にやさしい農産物認証制度、長野県原産地呼称管理制度、信州おもてなし大賞、えるぼし認定、循環型社会形成推進功労者表彰、森林認証制度、森林CO2吸収評価認証制度、長野県県産材CO2固定量認証制度、消防団協力事業所表示制度など）

- この「要件2」は、ISO26000（※1）、RBA（Responsible Business Alliance）（※2）行動規範等を参考に、非財務情報（SDGsの観点で市場・社会から期待される基本的な事項）について整理し作成
- 「SDGsとの関連性」については、各項目について、169のターゲットに直接的に当てはまる場合は黒字、 間接的（結果として）に寄与する17ゴールが当てはまる場合は、赤字で番号を記載
- 企業が県へ申請する際には、チェック欄へのチェックとあわせ、「具体的な取組」へ取組内容を記載
- ※1…組織の社会的責任に関する国際規格 ※2…労働環境、製造プロセスの環境負荷に対する責任を持っていることを確認するための規定